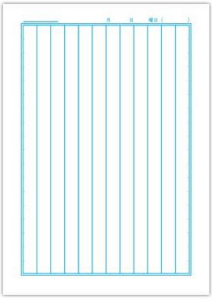
寺田香奈子

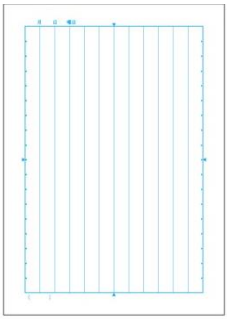
◆ジャポニカ学習帳 VS かんがえる学習帳

ジャポニカ学習帳

VS

かんがえる学習帳





◆調査概要

学習帳には夢が詰まっている。楽しく勉強したいという子どもの思い、子どもに考える力を身に付けさせたいという親の願い。メーカーは期待に応えるため、子どもの学習意欲をかき立てる学習帳をつくってきた。表紙に動物や植物の写真を掲載することで世界や生き物について興味を持たせ、学年の発達に合わせたコンテンツ（表紙裏の図鑑やクイズなどの読み物）で、興味関心を伸ばすことができるのだ。ではこの学習意欲を満たすための工夫は各メーカーでどう異なるか。テレビ CM でおなじみの「ジャポニカ学習帳」と 2012 年にデザインを一新したばかりの「かんがえる学習帳」のそれぞれの表紙や裏表紙、中身、付録などを比較し、違いと込められた思いを考察する。

【スペック比較】

ジャポニカ学習帳	比較項目	かんがえる学習帳
ショウワノート株式会社	メーカー	株式会社キョクトウ・アソシエイツ
発売当時話題の小学館「大日本百科事典・ジャポニカ」とコラボしたことから、その名が付いた。	商品名由来	ノートの書き込みによる 日々の学習で、考える力が付くようにという思いで、その名が付いた。
1970 年	発売年	2002 年
「世界の特写シリーズ」 （1978 年～）	表紙	動物の写真（2012 年～）
学習百科 表紙写真の解説	裏表紙	ユニセフの紹介 表紙写真の解説
178 円	価格	178 円
B5	サイズ	B5
糸綴り	綴り方	糸綴り
算数・国語・理科・社会・百ます計算・作文帳・日記・漢字・全科目・連絡帳・自由帳	主な科目	算数・国語・理科・社会・作文帳・日記・漢字・全科目・連絡帳・自由帳
学習帳専用紙	紙	環境への配慮から植林木を原料とした紙を使用
・表紙は独自の取材班が撮影した大自然のオリジナル写真 ・裏表紙は「ジャポニカ学習図鑑」（表紙写真の解説や取材班のコラム） ・見返しには小学館監修「学習百科シリーズ」（世界の珍しい動植物や動物の生態などをわかりやすく写真やイラスト、文章で紹介）を掲載。	各社ホームページに掲載されている特長	・表紙は学年に合わせた動物の写真（岩合光昭氏撮影） ・科目別カラーノート ・表紙の色はカラーユニバーサルデザイン ・ユニセフの紹介 ・紙は環境に配慮した植林木を使用 ・子どもの学び・成長をうながす「かんがえる」読み物
・見返し （フルカラー2 ページ・二色刷り 4 ページ）	コンテンツ掲載方法	・見返し （フルカラー2 ページ）

【コンテンツの比較（一部）】

科目名	ジャポニカ学習帳	かんがえる学習帳
国語 十二行	学習百科 ・ミルクでひなを育てるフラミンゴ ・大豆から作られるとうふ ・日本の国土の三分の二は森林 ・オランダの豊かな大地をつくった風車	・日本のことば　雲 写真で雲の種類の紹介 ・声に出して読んでみよう 谷川俊太郎氏の詩と人物紹介

◆考察

各メーカーの学習帳を比較したところ、サイズや価格といった規格に大きな差はみられなかった。違いが大きく目立つデザインとコンテンツについて以下考察しておきたい。

ショウワノートの「ジャポニカ学習帳」は学習ノート市場の約 5 割を占める。「ジャポニカ学習帳」が現在の学習帳の定番となったきっかけは、動植物写真の表紙の掲載である。1970 年以前の学習帳の表紙は子ども向けイラストが主流であり、売り上げ不振の学習帳のリニューアルを図るために、1978 年からショウワノートは表紙に写真の使用を採択した。当時としては画期的なデザインであり、注目を集めた。加えて、独自の取材によって編集した「学習百科」の掲載が、学習帳の付加価値を向上させ、高度経済成長期の親の子どもに勉強に勤しんでほしいという教育欲にも応えたのだ。発売から 40 年経った現在まで、デザインとコンテンツの大きな変更はなく、学習帳の一ブランドを築いている。

一方の、「かんがえる学習帳」は 2012 年にデザインとコンテンツを一新した。以前の学習帳は全種類すべて水色の表紙であったが、リニューアルを経て、科目別に異なったカラーとなった。配色は色盲の子どもでも判別できるようカラーユニバーサルデザインを採択している。コンテンツは「かんがえる」力を身に着けさせるクイズやコラムなど多様で、高学年向けには将来の仕事について考える「キャリアノート」が掲載される。「ジャポニカ学習帳」と比較すると、子どもの成長に合わせた新しい工夫が多いように思える。

デザインとコンテンツの一新により、新たな付加価値を与える事ができるかもしれないが、元のユーザーの心が離れてしまう可能性がある。「ジャポニカ学習帳」は CM などの宣伝でデザインイメージが固定されているので、もし大幅に変更されれば違和感はぬぐえないうえに、これまでの築き上げてきたブランドが意味をなさなくなる。「かんがえる学習帳」は我々に明確なイメージが無いからこそ、違和感なくデザイン・コンテンツを変える事ができたのではないだろうか。

【参考記事】

「キミの名は　ジャポニカ学習帳」朝日新聞　2008 年 8 月 9 日朝刊
「学校モノがたり　学習帳、歴史刻む表紙」朝日新聞　2011 年 7 月 14 日
「40 年、10 億冊分の工夫　高岡・ショウワノートのジャポニカ学習帳」朝日新聞　2010 年 4 月 7 日朝刊

【参考 URL】

・ショウワノート　ジャポニカ学習帳：http://www.showa-note.co.jp/product/japonica/about/(URL 取得日　2012 年 1 月 24 日)
・キョクトウのかんがえる学習帳：
http://www.kyokuto-note.co.jp/special/kangaeru/ (URL 取得日　2012 年 1 月 24 日)

奈良女子大学文学部人文社会学科文化メディア学コース編
（2012 年度後期「文化社会学演習」報告書）

『文房具―ぶんぐ大学への招待―』

2013 年 8 月 12 日発行

編集・発行　奈良女子大学文学部 人文社会学科
文化メディア学コース（小川研究室）

〒630-8506 奈良市北魚屋西町 電話＆FAX 0742－20－3259
E-mail ogawax@dream.com

印刷　株式会社　実業印刷